

米販売動向調査について（全米販調査：令和4年9月分）

1. 回答数 55 会員

2. 調査結果概要

Q1：昨年9月と比べた令和4年9月（1か月）の米販売量

「やや減った」が最も多いが、次いで「増えた」が多く、回答は分散している。

Q3：3か月前（令和4年6月）と比べた販売動向

「やや悪くなっている」、「悪くなっている」の回答を合わせると約5割となり、DI値は「39.6」。

Q5：3か月先（令和4年12月頃）の見通し

「やや悪くなる」、「悪くなる」の回答数が「やや良くなる」の回答数をわずかに上回り、DI値は「47.7」。

3. 集計結果

Q1：昨年9月と比べた令和4年9月（1か月）の米販売量

回答者数（会員）					
合計	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った
55	11	10	10	14	10
100.0%	20.0%	18.2%	18.2%	25.5%	18.2%

Q3：3か月前（4年6月）と比べた販売動向

回答者数（会員）					
合計	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
55	4	7	16	18	10
100.0%	7.3%	12.7%	29.1%	32.7%	18.2%

DI値
39.6

(参考) 規模別 DI値		
規模A	規模B	規模C
44.2	43.4	33.7

Q5：3か月先（4年12月頃）の見通し

回答者数（会員）					
合計	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
55	0	19	14	20	2
100.0%	0.0%	34.5%	25.5%	36.4%	3.6%

DI値
47.7

(参考) 規模別 DI値		
規模A	規模B	規模C
42.3	53.9	45.7

※企業規模について

規模A：米穀の売上高が年間100億円以上、規模B：米穀の売上高が年間25億円以上～100億円未満

規模C：米穀の売上高が年間25億円未満

～主な回答理由～

Q1：現在（4年9月）の米販売量（前年同月との比較）

- 4年産米は店頭価格が昨年より上昇しているため、販売は低調。
- 3年産米の消化に伴う価格対応により販売は増加した。
- 中食・外食は春以降回復基調にあるが、量販店向けは落ち込んでおり、9月に関してはトータルでは前年を割っている。

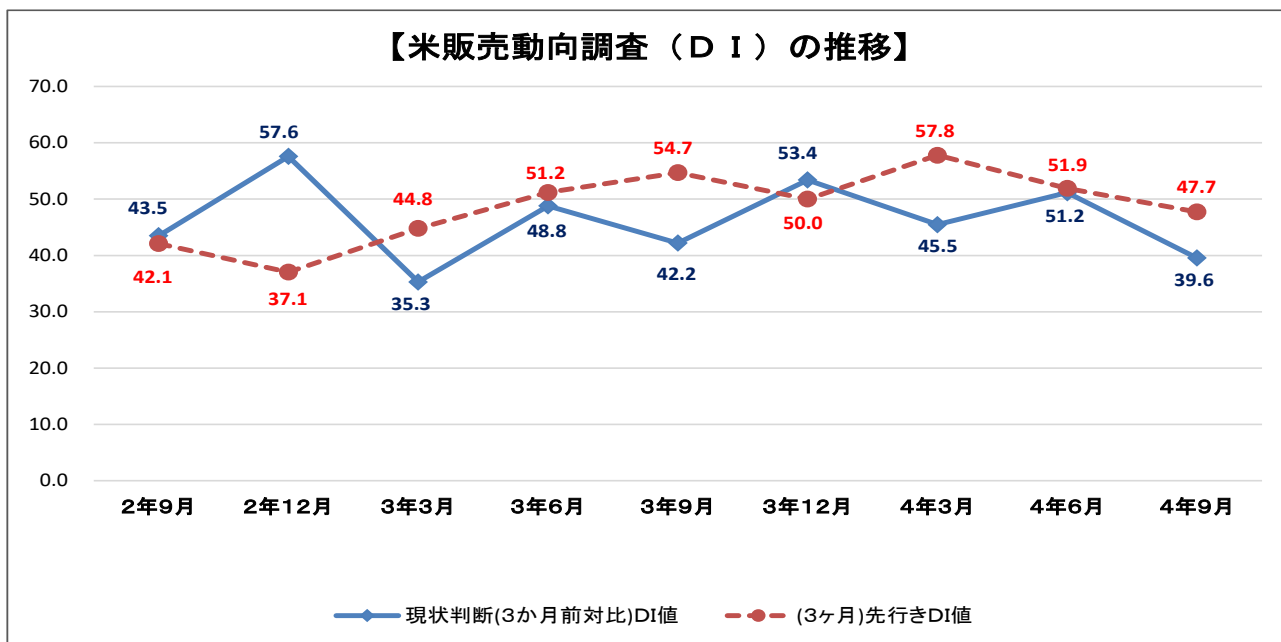
Q3：過去（3か月前）と現在の動き

- 量販店向けは、販売数量、金額ともに前年割れとなっている。
- 6月は古米の玄米販売が好調だったが、新米は荷物が出てきておらず不調となっている。
- 新米が出回り、6月よりは量販店向けの販売は伸びた。

Q5：将来（3か月後）の動き

- 円安の影響で物の値段が上がり、米の値上げを含め消費の減速が進んでいくことを懸念。
- 入国制限の緩和、旅行支援などで、業務用需要は伸びるが、家庭用需要は落ちることが予想される。
- 4年産の米価上昇が消費者・実需者にどの程度受け入れられていくか注視したい。

【米販売動向調査（DI）の推移】



Q2：昨年9月と比べた令和4年9月（1か月）の米販売量

<仕向先別>	合計	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った
(小売店向け)		%	%	%	%	%
大手スーパー	100%	10.8	10.8	21.6	35.1	21.6
中小スーパー	100%	2.0	18.0	26.0	34.0	20.0
米穀専門店	100%	2.0	8.2	30.6	34.7	24.5
その他	100%	12.2	17.1	31.7	19.5	19.5
(外食産業向け)						
外食向け	100%	12.5	29.2	33.3	20.8	4.2
中食向け	100%	7.8	23.5	56.9	9.8	2.0
給食向け	100%	1.9	9.6	84.6	3.8	0.0

Q4：3か月前（令和4年6月）と比べた販売動向

<仕向先別>	合計	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている	DI指数
(小売店向け)		%	%	%	%	%	
大手スーパー	100%	2.7	24.3	35.1	32.4	5.4	46.6
中小スーパー	100%	0.0	16.0	38.0	36.0	10.0	40.0
米穀専門店	100%	0.0	12.2	40.8	34.7	12.2	38.3
その他	100%	2.4	7.3	46.3	26.8	17.1	37.8
(外食産業向け)							
外食向け	100%	4.3	29.8	48.9	17.0	0.0	55.3
中食向け	100%	0.0	25.5	58.8	15.7	0.0	52.5
給食向け	100%	0.0	9.4	83.0	7.5	0.0	50.5

Q6：3か月先（令和4年9月頃）の見通し

<仕向先別>	合計	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる	DI指数
(小売店向け)		%	%	%	%	%	
大手スーパー	100%	0.0	23.1	35.9	41.0	0.0	45.5
中小スーパー	100%	0.0	14.0	46.0	34.0	6.0	42.0
米穀専門店	100%	0.0	14.3	51.0	22.4	12.2	41.8
その他	100%	2.4	16.7	54.8	23.8	2.4	48.2
(外食産業向け)							
外食向け	100%	0.0	37.5	56.3	6.3	0.0	57.8
中食向け	100%	0.0	37.3	58.8	2.0	2.0	57.8
給食向け	100%	0.0	9.6	90.4	0.0	0.0	52.4

*DI（diffusion index）の算出方法：内閣府で発表している「景気ウォッチャー調査」方式を採用した。具体的には、5つの回答選択肢に均等に0～1の評価点を与え、各回答の構成比に対応するそれぞれの評価点を乗じ、それらの合計を指数（%ポイント）としてDI値を算出。それが50の場合は横ばい（現状維持）を示す。0に近づくほど販売が低迷傾向にあることを示し、逆に100に近づくほど販売が好調傾向であることを示す。

（算出例）	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
評価点 A	1	0.75	0.5	0.25	0
結果（構成比） B	17.8	20.0	20.0	22.2	20
各DI値 C=A×B	17.8	15	10	5.6	0
DI値（合計）	48.4→米販売の動きはほんの少し低迷傾向				